真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月13日

事務事業名	生活排水処理施設維持管理事業(下水道管渠及び農集排施設の維持管理)	担当課・係	上下水道部　下水道課　維持係
政策名　No	4　「都市づくり」～暮らしやすさアップ！～	関連するSDGs･DX	
施策名　No	5　安定した上下水道サービスの提供		

成果指標	名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
	公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽の普及率	%	88.3					93.0
	下水道事業の経費回収率	%	87.6					100

事業内容

①
・快適で衛生的な生活環境の確保と公共用水域の水質保全を目的とした公共下水道管渠施設の維持管理業務、また安全な都市基盤の整備と防災を目的とした都市下水路施設の維持管理を行う。
　公共下水道管渠施設・・・・・・汚水管渠、公共汚水桝、中継ポンプ、雨水管渠、雨水調整地など
　都市下水路施設・・・・・・・・都市下水路、調整地など

②
・農業用用排水の水質保全、農村環境の改善、公共用水域の水質保全を目的に汚水処理施設、管路施設の維持管理を行う。
　農業集落排水施設・・・・・・ １.飯貝地区、２.小林地区、３.粕田地区、４.小貝川東部、５.大沼地区、６.東郷地区、７.東大島地区、８.両沼地区、９.二宮地区、10.鹿物井地区、11.二宮東部地区　合計１１地区

前年度の課題（Check）

①
・施設の老朽化、移管及び新規整備等により管理対象施設が増加することに伴う維持管理費用の増額が懸念される。また、不明水は処理施設の負担や処理費用の増額につながるため、解消する必要がある。
②
・施設の老朽化による維持管理費用の増加。

7年度振り返り

【1】実績（Do）７年度に実施した事業

①
・公共下水道管渠施設の維持管理
　・施設の維持管理
　　・委託費（除草、保守点検等）
　　・工事請負費（管路修繕等）
　　・その他維持管理費（電気料等）
　・施設の更新
・都市下水路施設の維持管理
　・施設の維持管理
　　・委託費（除草、保守点検等）
　　・工事請負費（管路修繕等）
　　・その他維持管理費（電気料等）
　・施設の更新

②
・農業集落排水施設の維持管理　11箇所
　・施設の維持管理
　　・委託費（処理場維持管理委託等）
　　・工事請負費（管路修繕等）
　　・その他維持管理費（電気料等）
　・施設の更新（令和７年度実績）
　　・中継ポンプ場ポンプ更新　3箇所
　　・ポンプ更新　8箇所
　　・ブロワ更新　4箇所
　　・その他施設更新　7箇所

【2】結果と課題（Check）

①
・公共下水道や都市下水路の雨水調整池や雨水浸透槽の維持管理（除草・清掃）に要する費用は、年々増額している。（R6からR7で79万円増額）
②
・農業集落排水においてはこれまで目視調査を実施しておらず、管路施設の健全度は把握されていなかった。不明水の原因となる地下水の侵入位置等を把握し修繕していく必要がある。（農業集落排水については、供用開始時期が古いほど有収率が下がる傾向にある。）
・機器の更新については、耐用年数に基づく予防保全ではなく健全度の状態を監視し必要となり次第更新する方針であるため、想定していたすべての機器を更新するものではなく、また想定外の機器が故障する場合もあり、予算上不用額や不足額が発生してしまう。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと

①
・雨水調整池や雨水浸透槽の維持管理（除草・清掃）に要する費用は、実施時期や回数の工夫で縮減可能。
②
・不明水対策として、農業集落排水管路への目視調査、詳細な調査が必要な箇所にはTVカメラ調査、発見した破損個所への止水工事。

(2) 長期的な計画で検討すること

・経営改善のため農業集落排水同士の統合や公共下水道への接続を検討しており、それらを考慮した機器の更新計画等が必要。